

## 第2章 総合治水対策の方向性

### 基本理念

本市では、総合的な治水対策についての取り組みを「郡山市第五次総合計画 後期基本計画」に位置付け、重要な施策として取り組みを進めています。

郡山市第五次総合計画 後期基本計画（抜粋）

大綱6「都市と自然が調和する快適で安全なまち」  
⇒基本施策3「誰もが安全・安心に生活できるまち」  
⇒施策1「防災体制の強化と災害時体制の整備」  
施策2「浸水対策の強化」  
施策3「治水・治山対策の推進」

加えて第九次実施計画には、さまざまな浸水対策に関連性のある事業を位置付け、実行性のある施策を展開しています。

近年の気候変動と都市化の進展に伴い、従来の治水対策だけでは対処しきれない浸水被害が発生しています。そこで、将来を見据えた総合的な治水対策について検討を進め、治水の安全度を高めていきます。

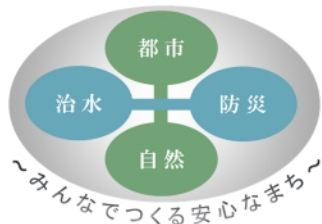
本市における「総合的な治水対策」を検討する上での基本理念を

### 都市と自然の共存 治水と防災の連携

～みんなでつくる安心なまち～

と定め、浸水被害の軽減に向けた社会の実現を目指します。

住居や都市機能が集積した「市街地」と、猪苗代湖や阿武隈川に育まれた豊かな「自然」を併せ持つ郡山市では、ハード事業「治水」とソフト対策「防災」を連携させながら、行政だけでなく市民や事業者とも協力して浸水被害の軽減を図っていきます。



また、本市の総合的な治水対策の検討では、ソフト対策の推進を重要な方針として捉え、全ての住民が治水・防災に対する高い危機意識を維持し、協力しながら治水対策を進めていくこととしており、サブタイトルを「みんなでつくる安心なまち」としています。

### 基本方針

#### ハード事業

#### 1. 安全な都市基盤づくり

住民の生活を守る第一の砦として、治水対策施設の整備を強力に進めます。また、施設の維持管理や改築更新等を計画的に進め、安定的・持続的に施設の機能を確保し、安全な都市基盤づくりを進めます。

なが  
流す

た  
溜める

ふせ  
防ぐ

#### ソフト対策

#### 2. 万全な準備体制づくり

自然災害を完全に抑えることは難しいため、水害等に対して万全の体制で備えます。情報伝達に関する準備、いつでも避難できるための物資の準備、慌てないための心の準備など、さまざまな備えをします。

そな  
備える

まな  
学ぶ

#### 3. 迅速な情報伝達の仕組みづくり

情報は、次の行動を決める上で重要な要素となることから、日頃から情報の収集に努めます。有事には、正確な情報が迅速に隅々まで届くように、情報共有の仕組みづくりに努めます。

あつ  
集める

つた  
伝える

#### 4. 強靭な連携体制づくり

近年の浸水被害は、従来の予想を上回る規模で頻発しており、行政の施設整備だけでは対処しきれない状況にあります。よって、行政と住民等が団結することで被害の軽減を図りながら、自らの判断で身を守ります。

つな  
繋がる

に  
逃げる

## 施策と目標



### 基本方針 1. 安全な都市基盤づくり

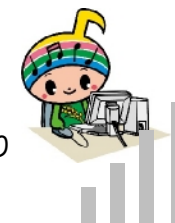
施策	目標
なが 流す	降った雨を速やかに流すことで、 浸水被害の発生を抑えます。
た 溜める	流しきれない雨を一時的に溜めることで、 下流域への負担を軽減します。
ふせ 防ぐ	降った雨が、生活圏内に溢れ出て 浸水被害を出さないように防ぎます。

### 基本方針 2. 万全な準備体制づくり



施策	目標
そな 備える	いざという時に、速やかに行動できるよう 事前の準備をしておきます。
まな 学ぶ	水害について理解を深めることで 適切な判断ができるようにします。

### 基本方針 3. 迅速な情報伝達の仕組みづくり



施策	目標
あつ 集める	多くの情報を集めて、 的確なタイミングで適切な判断をします。
つた 伝える	適切な情報を、的確に伝えることができるよう さまざまな手法でみんなに伝えます。

### 基本方針 4. 強靱な連携体制づくり

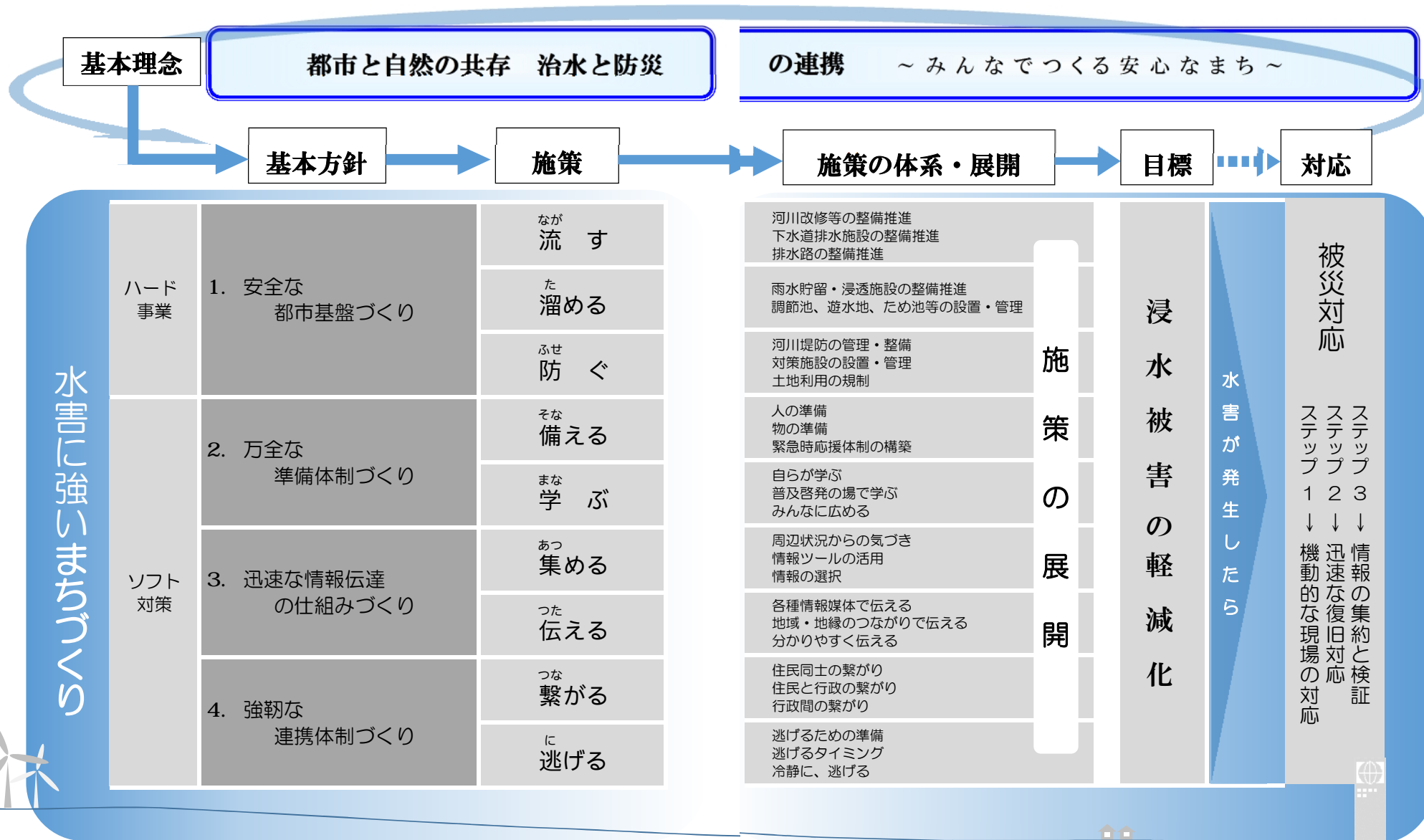


施策	目標
つな 繋がる	住民同士から大きな組織まで 助け合いの繋がりを構築し、維持していきます。
に 逃げる	日頃から避難場所や経路を把握し、 自らの判断で身を守ります。

検討の構成

本市の総合的な治水対策について、基礎となる基本理念とそれに基づく

体系の構成を定め、効率的、効果的に治水対策を進めます。



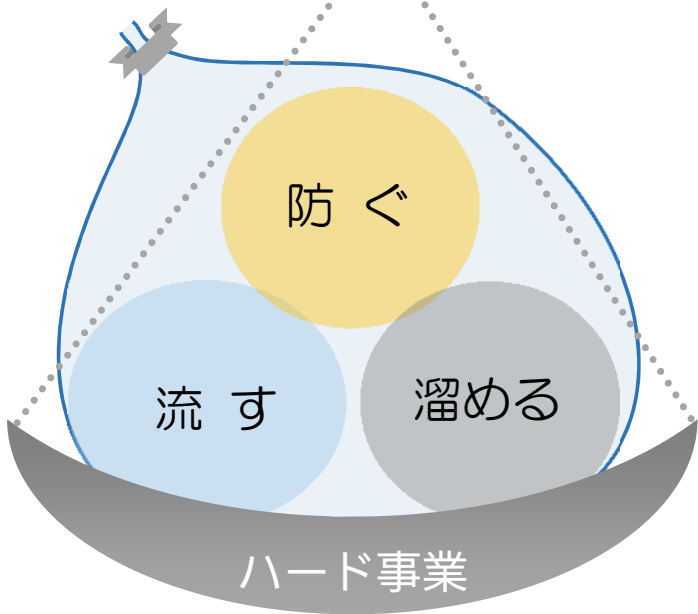
<施策のバランス>

— イメージ図 —

総合的な治水対策は、ハード事業とソフト対策のバランスを取りながら進めていくと効果的なんだあ

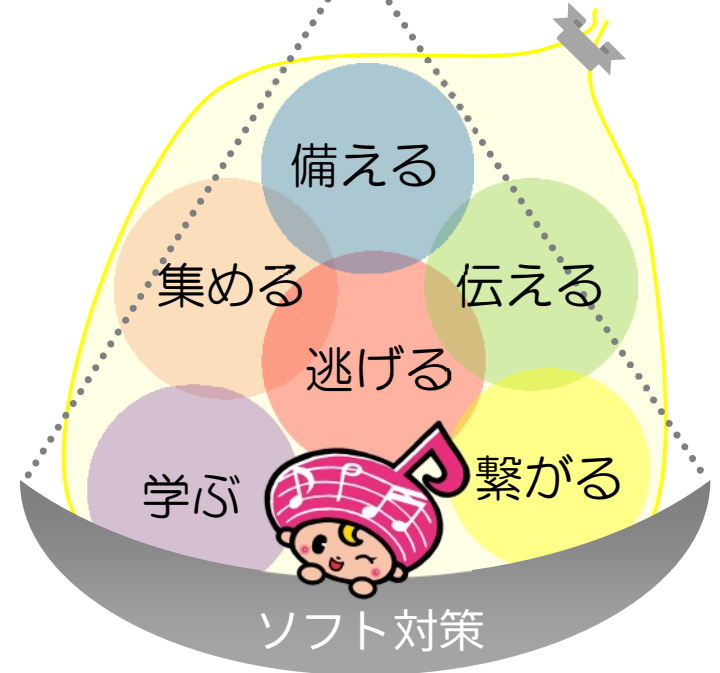


浸水被害の軽減化



都市と自然の共存 治水と防災の連携

～みんなでつくる安心なまち～



ハード事業で対応しきれない部分をソフト対策でカバーできるといいのね♥